

イエス・キリストを紹介！ 信仰と愛に成長する

2016年12月11日（日）午後2-4時

「生きるを考える」の集い 第七回目

日曜日の午後、

クリス・ドーン師の個人的体験を通して、

周りの人たちをイエス・キリストへと導く方法についてお話を伺います

第一部

語り手

クリス・ドーン師（逐語通訳で聞いていただけます）

すべてのキリスト者がすぐにでも実践に移せる「アルファコース」の紹介

第二部

主催者として、アルファコースを始めることを考えよう！

クリス師のアルファコース主催の体験から、更なる例証

「生きるを考える」の集い・シリーズの ご案内

フルダミニストリーでは、2016年5月から2017年3月にかけて、

この世で与えられた生命、人生をいかに生きるかの貴重なお話を、各専門域の第一線で活躍しておられる英国人講師二人から伺う「生きるいのちを考える」の集いを企画しました。

日本の大学、研究機関に客員教授として招聘されている講師ですので、海外出張も多く、全員の常時出席はかないませんが、日本滞在中、できるだけ多くの時間を、皆さまとのお交わりに費やしたいとのことですので、月一回、日曜日の午後2-4時、この集いを計画しております。

お友だちをお誘いの上、万障繰り合わせてお出かけください。

講師プロフィール

クリス・ドーン 英国ダラム大学宇宙物理学教授、ブラックホール研究者

ジョン・パーカー 英国ダラム大学数学教授

場所：町田市民文学館ことばらんど

（東京都町田市原町田4丁目16-17）第六会議室

次回の予定 （最新情報はサイトでご確認ください）

日時：2017年1月15日（日）午後2-4時

場所：[町田市民フォーラム4階・第一会議室A](#)

（東京都町田市原町田4丁目9-8 33サウスフロントタワー町田内）

講師：クリス・ドーン師

1	イエス・キリストを紹介！ —信仰と愛に成長する—
2	<p>日本のこの群れ = 『使徒の働き』！</p> <ul style="list-style-type: none"> ● イエスを知らない人々に比し、イエスを知っている群れは多勢に無勢 ● しかし、同じ御霊に満ちている ● 同じ御霊の賜物、一預言、癒し、信仰… — を使うことができる ● しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。 (使徒の働き 1 : 8)
3	<p>どのようにして !!!! ?????</p> <ul style="list-style-type: none"> ● イエスをどのように知らせるのか？ ● 私は牧者ではなく、神学を十分知らない 難しい質問に答えることができなかつたらどうしよう？ ● 私たちはみな、説教者としてではなく、証人としての召名を受けている！ ● 証人は、経験したことを語りさえすればよい
4	<p>法廷での証人</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 証人は、見、経験したことを話す ● 証人は、被告人がなぜそのようなことをしたかを知る必要はない ● …あなたがたは…わたしの証人となります… (使徒の働き 1 : 8) ● 私たちは神学の詳細を知る必要はない、牧者である必要もない 私たちは、自分の人生で起こったことをただ話しさえすればよい
5	<p>ヨハネ 9 章</p> <ul style="list-style-type: none"> ● イエスは生まれつきの盲人を安息日に癒された！ パリサイ人は憤り、イエスはモーセの律法を破ったから罪人だと言えと、その人に迫った ● ただ一つのことだけ知っています。私は盲目であったのに、今は見える… ● イエスを預言者と呼び、後で知らされるまで神の子とは知らなかった
6	<ul style="list-style-type: none"> ● この人は神学をあまり知らず、説教者でも牧者でもない ● しかし、要人で構成された最高裁で、イエスが神からであると証しした ● 彼がしたことといえば、経験を話ただけであった
7	<p>私たちの経験をどのように話そうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 往々にして人々は聞きたがらないようだ… ● …しかし、質問は山ほどある ● 神に一つ質問できるとしたら、それはどのような…
9	<p>アルファコース</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人生についてだれもがたくさんの質問を持っている ● …しかし、尋ねるところはどこにもない？ ● ここに、彼らが質問を尋ねる場所がある！ ● このコースは、「できるかやってみよう」の集いで始まる ● 来て、どんな風か見て、もし気に入れば、また次の機会に来てください ● 全十週間の集いで、キリスト信仰の基本的側面に触れることができる ● 教授ではなく、対話で！

10	<p>アルファコース —食事—</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 会食で始まり、互いに知り合うこと、これがとても大切 ● 会話を始めるための、食卓での質問、一神/宗教ではなく人生！— …愛読書、好きな映画、水泳、英雄、幼少期、仮装パーティでの衣装等々… ● 互いに知り合いになった後、交友関係と御霊が人々をコースに連れ戻す
11	<p>アルファコース</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 次に、話し（キリスト者はよくこれが一番重要と思うが、そうではない！ これは、話し合いのための課題設定にすぎない！） ● 私はここで DVD（話しの準備をする必要がない！）を利用し、その後、だれもが話し手（その場にはいない!!）に不賛成を、自由に表明できる <ol style="list-style-type: none"> 1. もっと他の生き方があるだろうか（これだけが人生ではないはず）…？ 2. イエスって、だれ？ 3. どうしてイエスは死んだの？ 4. どうして、どのように祈るの？ 5. 聖書をご覧ください
12	<ul style="list-style-type: none"> ● そこで人々は今聞いたことについて話し合うが、ここが一番肝心 私たち（主催者）が話しをするのではない!! ● DVD があなたの見解を説明したので、あなたの出番はもう済んだ あなたはただ DVD に話させ、質問させればよい ● 「とても興味深い質問ですね、皆さんのご意見を聞かせてください…」
13	<p>アルファコース —話し合いに際しての問題—</p> <ul style="list-style-type: none"> ● あまりにも内気な人々を、気まずく感じさせずに会話に引き込むには 「どなたかほかにこれについて尋ねたい方はおられますか？」と見まわし、 あからさまではなく、意見が促されていることを視線を合わせてほのめかす ● あまりにも支配的な人々に、ほかの人たちに話すチャンスを与えさせるには 「とても興味深い質問ですね、どなたかほかの方のご意見は…？」
14	<ul style="list-style-type: none"> ● あまり好ましくない質問には、「とても興味深い質問ですね、でも、 あなたにはそれがどうしてそんなに重大なのでしょう…」 ● 主題から完全に外れた質問「なぜ最近の若者たちには敬意がないのか…」 あわてないで会話を少しの間やり過ごし、途切れたとき、本題についての 質問をさしはさみましょう… 支配しておられるのはイエスです！信仰！
15	<p>アルファコース —場所、時間帯を変えての集い（特別会）—</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コースの半ば過ぎ、週末に別の場所で ● 御霊が働かれるとき [いつも (!!) 大きな変化が起こるのはここ] <ul style="list-style-type: none"> ● 御霊はだれか？ ● 御霊は何をされるのか？ ● どのようにしたら御霊に満たされることが出来るのか？ ● その後、御霊よ、来てください、と祈る！ ● 身震いするほどの神のご臨在、御働き！ これこそ、祈りの大きな動機
16	<p>アルファの逸話</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 前回（10月23日）、妻が長期にわたって患っていたある夫婦の話をした アルファの特別会の日、私は神から彼らについて預言的言葉を受けた 神は夫（建造者）に重荷を担う広い肩を授けたが、妻の病は一人で担うには

	重すぎた。しかし、イエスが一緒に重荷を負ってくださると知ったとき、二人は信仰に入った。その数ヶ月後、妻の病にかなりの癒しが起こった
17	<p>アルファの逸話 ー特別会の日ー</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コースに中国人学生が加わったが、言葉と文化の違いで、彼らの霊的状态がつかめなかった ● 尋ねることは冒険、圧力をかけることになるかもしれない ● この特別会こそ、彼らの意向を尋ねるタイミング、との信仰が与えられた ● 意向を尋ねたら、女子学生は信仰を表示、私は彼女のために祈った
18	<ul style="list-style-type: none"> ● ある男性が、二十歳以上年上の女性と同棲していた（これは問題ではない、まず、イエスに出会い、そのあと、生活を正せばよい イエスも遊女や取税人と交わられた） ● この特別会の日、彼の意向を聞くときが熟した、との信仰が与えられた ● 尋ねたら、彼は承諾し、私は彼がキリスト者となるよう祈った
19	<p>アルファの逸話 ー通常コースでー</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コースに、新参のキリスト者が加わった、一彼にはいろいろな精神衛生上の問題（双極性障害で、躁状態とうつ状態の繰り返し）があった ● とても支配的で、いつも質問をしたが、それは自分のことを話す言い訳で、話題から外れたことを長く話し続けたものであった ● 「それはとても興味深いことだわ、ほかの方々はどのように思われますか」と私は彼の話さをさげろろうと試みたが、いつもうまくいくわけではなかった
20	<ul style="list-style-type: none"> ● 彼はコースにとっても熱狂的になり、友人たちをみーんな連れてきた!! ● その人たちもほとんどが精神衛生上の問題を抱えているか、ホームレスで、あるいは、その両方であった ● 彼らはあまり信頼できず!!…扱いに手こずった! ● ところが、私の悩みの種であった彼が、彼らの面倒を見始めた…もはや、すべてのことが彼を中心に回転するのではなくなった 彼は、周りの人たちに手を差し伸べるようになったのだ 何年かのうちに、イエスが彼を変え、彼を癒してくださった
21	<p>アルファの逸話</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ある会計士の女性と、その週は「なぜ、どのように祈るか」を扱い、私は、「家に帰ったら、『神よ、もしおられるなら、私に分かる方法でご自身を顕してください』と祈ってみて」と、全く随意の宿題を出した ● そこで彼女はそう言ってみたが何も起こらず、床に就いた
22	<ul style="list-style-type: none"> ● 彼女は実に不思議な、でも鮮明な夢、一数字の七が追いかけて合おうを見た ● 彼女は目覚め、謎に包まれた…そのとき、彼女は昨夜祈ったことと、コースの中で七が聖書では「完成、完全」の意であると知ったことを思い起こした ● 彼女は数字を扱う会計士なので、神はご自身の何かを彼女に顕すため、数字を選ばれ、彼女はキリスト者になった
23	<p>どのように成長するのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 一たびコースが据えられると、ジェットコースターに乗ったかのようなものである

	<p>あなたはそれを急な坂の頂上まで巻き上げて、そのまま行かせる！</p> <p>止まることはできず、行き続けなければならない</p> <p>いろいろな状況が起こるだろう!!</p> <p>そのときは祈り、イエスに答えを求める以外にない</p> <p>しかしその都度、神から聞いた、との信仰で、私は前進させられる!!</p>
24	<ul style="list-style-type: none"> ● ヘロイン中毒に陥った女性が、解放を望み、決意してコースに加わった ● もちろん、イエスの名で祈るなら、人は自由になるという理論を知っている ● しかし、私はそれを一度もやってみたことがない <p>そのような場合には牧者に来てもらい、牧者にしてもらったものである</p> <p>しかし、彼女は今、私に向かって話している!!</p> <p>そこで、私は彼女とともに祈り、彼女は解放された!!</p> <ul style="list-style-type: none"> ● アルファで、私たちは、完全に神に信頼せざるを得ない状態に置かれる <p>それゆえ、私たちは成長するのである！</p>
25	<ul style="list-style-type: none"> ● これが、私がこのアルファをし続けている理由の一つである <p>もう一つの理由は、そこに実り、一人々が救われ、キリストとの自らの歩みへと前進していく— を見ることができるからである</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 神を必死に求めるので、私は成長する ● コースを始める前に「だれを招けばよいのか、招く勇気を与えてください、いつ尋ねればよいのか、知恵をください」と、私に絶対必要なのは神 ● 神に信頼し、人々を招くためには、助け人が絶対必要である <p>神に依存し、人々との互助関係で、私は自立に達する!!</p>
26	<ul style="list-style-type: none"> ● コースの間、絶対に神が必要である（話し合いのときの知恵、知識の言葉） ● 特別会の日に神が顕れてくださることが絶対必要である ● 疲れたとき、コースをやり続けるのに、神の力が絶対必要である ● 自分自身の人生の小さな世界、—進歩が見られない— のためではなく、ほかの人々のために神が絶対必要だから、私はイエスに焦点を当て続ける
27	<p>何が必要か</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 信仰!! 聖霊!!! ● チーム!! とともに祈り、互いに励まし合うために少なくとも二人 ● 一つのテーブルに、指導者二人と十人から十二人の人々
28	<ul style="list-style-type: none"> ● 招待客！ ● 招待状（印刷物、ウェブサイトで入手可） ● 新しく始まる話し合いのグループ、—一人生の意味に目を向け、見つける— 私とともに参加されませんか？もしあなたがいつも面白い考えをお持ちなら、きっと話し合いを楽しむことができるでしょう ● 私に同伴する最初の人として、どんなグループなのか、ご覧になりませんか
29	<ul style="list-style-type: none"> ● ほかのキリスト者仲間が、未信者か、新参のキリスト者の友人を連れてくる ● 各食卓に二人の指導者、彼らの友人で未信者（おそらく二人）、そのほかの人たちが六人から八人、—そのうち、少なくとも半数は未信者— ● キリスト者の数が少ない方がいい!! 招待客が質問しやすいように

30	<ul style="list-style-type: none"> ● 場所、—あなたのアパートの集会室（安くて便利）— ● 食事の用意をする責任者、—安く簡単に良質の食事（麺類、丼もの）— 経費の献金を募るか、持ち寄り形式にする、あるいは、基金を貯める ● DVDと招待状は、アルファサイトで入手可
32	<p>話し合うための質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ● あなたの環境でできることは何か？ ● だれを招くか、家族（託児の必要）、夫婦、母子、高齢者…？ ● 昼のコースか、夜のコースか？ ● 神はあなたに、どんなことに必要な信仰を与えてくださるだろうか？
33	<p>別のアルファの逸話（時間があれば）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者のための介護施設!! ● 彼らのほとんどは耳が遠い！ 話し合いのとき、互いの声が聞こえない 二人の高齢者につき、一人の介護者の三人構成のグループを作成 ● 高齢者の多くに記憶の問題がある —実況で（DVDではなく）話したが、 語られたことが何についてだったのか思い出せない人たちがいた—
34	<p>さらなるアルファの逸話</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 認知症の婦人がいて、恐れが強く、攻撃的だった ● 私が話すために立ち上がるたびに、彼女は「黙れ」と叫び、 ケーキを差し出すと、「あっちへ行け」と叫んだ ● 私たちは祈り、また祈り、さらに祈った ● コース八週目にケーキを差し出したら、「ケーキは嫌い、ジャムが好き」と 言い、人が動物にいかに残酷になりうるかをとりとめなくしゃべった…
35	<ul style="list-style-type: none"> ● しかし、私たちは「あっちへ行け」からの進展を祈った… ● 九週目、ケーキを差し出したら、「ケーキは嫌い」との返答、「知ってるわ、 あなたはジャムが好きでしょ、ジャムタルトもあるのよ！」と私は言った ● わーと彼女は言い、一つ食べ、人は動物に残酷だととりとめなくしゃべった うろついている犬を家に連れて来て、世話をしてやりたい…そして、 人の手にその手をのせる犬に人々は何と残酷なことか…と
36	<ul style="list-style-type: none"> ● 時々、話しの全容が頭にストーンと落ちることがある（特に祈ったとき!） ● 「犬が手を人の手に置くのは、信頼しているということよ。あなたも手を 神の御手に置いて、主よ、あなたを信じます、御許に連れて行って、 面倒を見てくださいと、お願いしない？」 彼女がうなずいたので、私は彼女とともに祈り、彼女はキリスト者になった ● 次の週、彼女は現れなかった、病院へ運ばれたので…